

臨床に役立つ体験を提供

胸痛を訴えたあとにVF...
ACSや解離の可能性はあるかも...
血圧の左右差はなかった...
ROSC後の心電図はどうだろう？

NCLS EPコース

看護師に必要なフィジカルアセスメントや臨床推論を強化する研修です

NCLS-EPコース概要

NCLS for Expert Practitioner Developmentコースは
「高度な実践力をもつ看護師（エキスパート・プラクティショナー）を
育成するためのNCLSのアドバンス研修です。

心停止の対応と同時に急変を予防するスキルも必要です。
NCLSコースだけでは十分に補完できない患者を急変させないために
必要な観察能力やフィジカルアセスメント力を育成します。

NCLS-EPコース概要

対象者

- ✓ NCLS修了者
- ✓ NCLSアシスタントやインストラクター

参加要件

- ✓ ZOOMによる顔出し、声出しができる環境

NCLS-EPコース概要

NCLS-EPの進め方

ZOOM上で模擬患者がでてきますので次ページに示す思考過程に沿って観察・評価してください。その結果、必要なアクションがあればそれも言語化してください。要は模擬患者相手にリアルタイムで思考をフル回転していただき必要な情報を言語化していきます。ペーパー事例ではないので問診の内容や所見によってリアルタイムに変化していくことで思考過程を養えるのが醍醐味となります。

患者情報

氏名

年齢

主訴（現病歴）

トレンド ☐ 安定 ☐ 不安定 ☐ 増悪傾向

急変リスク

第一印象の評価（3～5秒で迅速評価）

A（気道） ☐ 発声の有無 ☐ 異常な気道狭窄音

B（呼吸） ☐ 呼吸様式(速い 遅い 普通) ☐ 努力呼吸

C（循環） ☐ 顔色（皮膚色） ☐ 冷汗

D（意識） ☐ 表情 ☐ 姿勢

E（全身） ☐ 外観の評価（出血や外傷、変形）

☐ 緊急

☐ 重症感あり

☐ 重症感なし

☐ 応援

☐ 酸素

☐ モニター

☐ 救急カート

考えられる病態 / 疾患

問診 SAMPLE

S 主訴

A アレルギー

M 内服歴

P 既往歴

L 最終飲食

E 経過

R リスクファクター

バイタルサイン / 身体所見

A（気道）
気道狭窄や閉塞の有無
吸気性喘鳴は上気道狭窄のサイン

B（呼吸）
呼吸数、呼吸音、SpO2、姿勢
会話のスムーズさ

C（循環）
血圧、脈拍（心拍）数、脈圧
CRTなど

D（意識）
JCS、GCS、神経学的所見、瞳孔

E（全身/ 体温）
体温や四肢、皮膚の評価

問診 OPQRST

O いつから？

P 増悪寛解因子

Q 性質・ひどさ

R 部位

S 随伴症状

T 時間経過

簡単な検査

心電図モニター

12誘導心電図

エコー

血糖

病態の絞り込み

緊急度

☐ 高 即時診察

☐ 中 待てるが診察は必要

☐ 低 経過観察

報告

I 報告者/患者氏名と要件（結論）

S 状況 / 状態

B 背景 / 経過

A アセスメント

R 依頼内容 / 提案

C（指示があれば）復唱



NCLS-EPコース（仮）概要

オリエンテーション（10分）

初期評価のフレームワーク（5分）

意識消失&意識障害（60分）
